

## 1. 化学品及び会社情報

### 製品特定名

#### 製品名

AMPure XP

#### 製品番号

A63880, A63881, A63882

### 物質 / 混合物の関連用途及び推奨されない用途

#### 製品の使用

研究用。詳細は添付文書参照。

### 本安全性データシートの供給者の詳細情報

#### 製造業者

Beckman Coulter, Inc.  
250 S. Kraemer Blvd  
Brea, CA 92821, U.S.A.  
Tel: 800-854-3633

### サプライヤ

日本  
ベックマン・コルター株式会社  
135-0063  
東京都江東区有明3-5-7 TOC有明ウ  
エストタワー  
電話番号: +81 0120 566 730

#### e-mail アドレス

SDSNT@beckman.com

#### 緊急時電話番号

#### 電話番号(24時間対応)

Chemtrec 緊急連絡電話番号 米国 800-424-9300、国際電話 (001) 703-527-3887

#### 販売業者および緊急時の連絡先

最寄りの営業所および緊急電話番号に関しては別紙一覧表 (書類番号: [472050](#)) を参照してください。

日本  
最寄りの保健所、消防機関、警察署  
電話番号: 最寄りの保健所、消防機関、警察署の番号

## 2 危険有害性の要約

### 物質 / 混合物の分類

#### 製品説明

混合物  
茶色; 液体; 無臭

#### EC 1272/2008 (CLP/GHS)による分類

EC 1272/2008 (CLP/GHS)で危険物に分類されていない

#### US-OSHA (HCS 29 CFR 1910.1200)およびUN GHSによる分類

US-OSHA HCS 2012およびUN GHSで危険物に分類されていない

## 2 危険有害性の要約 (続き)

### ラベル要素

EC 1272/2008 (CLP/GHS)、US-OSHA、およびUN GHSに準拠

### 他の危険有害性

EC 1272/2008 (CLP/GHS)、US-OSHAおよびGHSで危険物に分類されていない本品は、排水管に一般に存在する鉛や銅に繰り返し触れると衝撃に敏感な化合物を蓄積することがあるアジ化物を、有害性基準を下回る濃度で含有しています。アジ化ナトリウムは重金属と化合して爆発性化合物を形成します。  
 PBTおよびvPvB評価の結果  
 PBT：該当しない。  
 vPvB：該当しない。

健康に関する詳細はセクション11の毒物に関する情報を参照してください。

## 3 組成及び成分情報

### 混合物

危険有害成分:		純粋成分の災害分類		
化学物質名	重量による%	EU 1272/2008 CLP/GHS	GHS	注記
アジ化ナトリウム CAS番号 26628-22-8 EINECS # 247-852-1 インデックス番号 011-004-00-7	< 0.1	Acute Tox. Oral 2, H300 急性水生毒性1, H400 長期水生毒性1, H410 EUH032  急性毒性推定値 (ATE) ATE 経口 = 27 mg/kg	Acute Tox. Oral 2, H300 急性水生毒性1, H400 長期水生毒性1, H410	2, 8

2 - EC職業暴露限界の設定されている物質  
 8 - カットオフ値よりも低い濃度で存在。

職業ばく露限界についてはセクション8参照  
 その他の規制情報についてはセクション15参照  
 危険有害性分類と危険有害性情報の記述については、セクション16を参照

## 4 応急措置

### 応急措置についての記述

#### 吸入した場合

もし本品を吸入した場合、吸入者を空気の新鮮な場所へ移動させてください。呼吸をしていない場合、訓練を受けた人物による人工呼吸を行い、すぐに医師の手当を受けてください。

#### 目に入った場合

もし本品が目に入った場合、念のため緩やかな水道水で目を洗ってください。

#### 皮膚についた場合

皮膚に付いた場合は、念のため水で洗い流してください。

#### 飲み込んだ場合

もし本品を飲み込んだ場合、水で口をすすいでください。刺激や不快感が生じた場合は、すぐに医師の手当を受けてください。

### 急性及び遅延性の最も重要な症状/影響

有害な症状又は影響は確認されていません。

## 4 応急措置 (続き)

### 応急処置及び必要とされる特別な処置の指示

特別な治療や処置は必要ありません。

## 5 火災時の措置

### 消火剤

火災では二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)、粉末消火剤、噴霧水または泡消火剤を用いる。  
大規模火災では周辺火災に適した消化剤を用いる。

### 物質 / 混合物から生じる特別な危険有害性 特別な火災及び爆発危険性

特別な危険有害性は確認されていません。

### 有害燃焼生成物

本製品からは重大な危険性のある燃焼生成物は発生しません (水溶液)。

### 消火作業への注意

#### 保護具

すべての薬品火災では消防隊員に自給式の呼吸装置を推奨します。

#### その他の情報

追加の関連情報なし。

## 6 漏出時の措置

### 人体に対する予防措置、保護具及び緊急時措置

#### 人体に対する予防措置

特別な注意事項はありません。安全基準に従ってください。

#### 環境に対する予防措置

漏出液を容器に回収し、他への流出を防いでください。  
未希釈製品が下水、地表水又は地下水に入らないようにしてください。  
地域の規制にしたがって内容物/容器を廃棄すること。

### 封じ込め及び浄化方法と機材

#### 流出および漏出時の措置

流出した物質は適切な不活性の非可燃性吸収剤で吸収し、定められた基準に従い廃棄してください。

#### 他のセクションへの参照

セクション8 および13を参照してください。

## 7 取扱い及び保管上の注意

**安全な取扱いのための予防措置** 特別な注意事項はありません。一般的な安全手順に従ってください。

### 混触危険性等、安全な保管条件

製品の品質を維持するため製品ラベルの記載内容に従い保存してください。  
強酸、強塩基、強酸化剤および不適合物質から離して保管してください (セクション10)。

### 特定の最終用途

追加の関連情報なし。

## 8 ばく露防止及び保護措置

### 管理指標

#### 許容濃度

米国 OSHA 未設定

#### ACGIH

アジ化ナトリウム 0.29 mg/m<sup>3</sup> 天井値 (アジ化ナトリウムとして); 0.11 ppm 天井値 (アジ化水素酸蒸気として)  
CAS番号 26628-22-8

#### ACGIH 生物学的曝露指標 (BEI)

未設定

#### DFG MAK

アジ化ナトリウム 0.4 mg/m<sup>3</sup> ピーク (吸引性画分); 0.2 mg/m<sup>3</sup> TWA MAK (吸引性画分)  
CAS番号 26628-22-8

#### アイルランド

アジ化ナトリウム 0.1 mg/m<sup>3</sup> TWA; 0.3 mg/m<sup>3</sup> STEL; 経皮吸収の可能性  
CAS番号 26628-22-8

#### IOELVs

アジ化ナトリウム 重大な経皮吸収が起こる可能性がある。; 0.1 mg/m<sup>3</sup> TWA; 0.3 mg/m<sup>3</sup> STEL  
CAS番号 26628-22-8

#### NIOSH

未設定

#### 中国

アジ化ナトリウム 0.3 mg/m<sup>3</sup> 天井値 MAC  
CAS番号 26628-22-8

#### クロアチア

アジ化ナトリウム 経皮吸収注意; 0.1 mg/m<sup>3</sup> TWA [GVI]; 0.3 mg/m<sup>3</sup> STEL [KGV]  
CAS番号 26628-22-8

#### Japan

未設定

#### スウェーデン ( AFS 2015:7および修正案 )

アジ化ナトリウム 0.1 mg/m<sup>3</sup> TLV NGV; 0.3 mg/m<sup>3</sup> 結合STEL Bindande KGV  
CAS番号 26628-22-8

#### トルコ

アジ化ナトリウム 0.3 mg/m<sup>3</sup> STEL; 経皮吸収注意; 0.1 mg/m<sup>3</sup> TWA  
CAS番号 26628-22-8

### ばく露防止

#### 設備対策

特に技術的な制御は必要ありません。良好な通常の換気を使用してください。

#### 眼の保護具

目に入らないように保護眼鏡を着用してください。  
U.S. OSHA 29 CFR 1910.133、欧州規格 EN166 又は適切な政府規格を参照。

#### 皮膚の保護具

必要に応じて、保護衣および不浸透性の手袋を着用してください。

#### 呼吸用保護具

通常の状態で本品を使用する場合には呼吸保護は必要ありません。

## 9 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

外観等	液体	密度および/または相対密度	≈ 1.127
色	茶色	溶解性	
臭い	無臭	水	混和
pH	8.0 - 8.4	有機溶媒	未定・不明
氷点 / 氷結点 / 凝固点	未定・不明	分配係数 n-オクタノール/水 (対数値)	未定・不明
沸点または初留点および沸点範囲	未定・不明	自然発火温度	適用外
引火点	適用外	分解温度	未定・不明
可燃性	適用外	蒸気圧	未定・不明
		動粘度	未定・不明
爆発下限界と爆発上限界	適用外		
相対蒸気密度	未定・不明		
粒子特性	適用外		
その他の情報			
身体的危険性の分類に関する情報	追加の関連情報なし。		
その他の安全性特性	追加の関連情報なし。		

## 10 安定性及び反応性

反応性	追加の関連情報なし。
化学的安定性	本品は推奨する保管条件で安定です。
危険有害反応性の可能性	アジ化ナトリウムは重金属と結合し爆発性化合物を生成します。低濃度のアジ化物でも排水管などの鉛や銅と繰り返し接触することにより爆発しやすい化合物を生成することがあります。
避けるべき条件	不適合な物質との接触を避けてください。 熱や直射日光に触れないようにしてください。
混触危険物質	金属および金属化合物

## 10 安定性及び反応性 (続き)

### 危険有害性のある分解生成物

重大な危険を引き起こす分解生成物は本品 (水溶液) には含まれていません。

## 11 有害性情報

### 危険性クラスに関する情報

#### 危険有害成分の毒性データ

アジ化ナトリウム  
CAS番号 26628-22-8

経皮 LD50 ウサギ 20 mg/kg (NLM\_HSDB); 吸入 LC50 ラット 0.054 - 0.52 mg/L 4 h (粉塵)(ECHA\_API); 経口 LD50 ラット 27 mg/kg (NZ\_CCID)

#### 被曝の主要経路

目との接触、摂取、吸入、および皮膚接触。

#### 急性毒性

入手可能なデータによる分類対象外です。

#### 皮膚腐食性及び皮膚刺激性

入手可能なデータによる分類対象外です。

#### 眼に対する重篤な損傷性

入手可能なデータによる分類対象外です。

#### 呼吸器感作性または皮膚感作性

入手可能なデータによる分類対象外です。

#### 生殖細胞変異原性

入手可能なデータによる分類対象外です。

#### 発がん性

ACGIH (米国産業衛生専門家会議)、IARC (国際がん研究機関)、NTP (米国国家毒性プログラム)、OSHAまたは1272/2008/EC規則において、本品の成分は発癌物質として記載されていません。

#### 生殖毒性

入手可能なデータによる分類対象外です。

#### 特定標的臓器毒性 (STOT) – 単回ばく露

入手可能なデータによる分類対象外です。

#### 特定標的臓器毒性 (STOT) – 反復ばく露

入手可能なデータによる分類対象外です。

#### 吸引性呼吸器有害性

入手可能なデータによる分類対象外です。

### その他の危険性に関する情報

#### 内分泌攪乱特性

本製品には、REACH第57(f)条に基づき、健康に関して、内分泌攪乱特性を有する物質は含まれていません。

#### その他の情報

追加の関連情報なし。

## 12 環境影響情報

### 毒性

#### 淡水生物種

アジ化ナトリウム  
CAS番号 26628-22-8

LC50 96 h Oncorhynchus mykiss: 0.8 mg/L; LC50 96 h Lepomis macrochirus:  
0.7 mg/L; LC50 96 h Pimephales promelas: 5.46 mg/L [流水式]

#### マイクロトックス/菌

情報なし

#### ミジンコ

情報なし

#### 淡水藻類

情報なし

#### 残留性と分解性

本品では未定。

#### 生体蓄積性

本品では未定。

#### 土壌中の移動度

本品では未定。

#### PBT及びvPvB評価の結果

本品では未定。PBT (難分解性、生体蓄積性、毒性を有する物質) : 該当しない、vPvB (極めて難分解性、高い生物蓄積性を有する物質) : 該当しない。

#### 内分泌攪乱特性

本製品には、REACH第57(f)条に基づき、環境に関して、内分泌攪乱特性を有する物質は含まれていません。

#### 他の有害影響

本品はカットオフ値以下の環境有害物質を含有しています。成分に関する情報についてはセクション3を参照してください。未希釈製品が下水、地表水または地下水に入らないようにしてください。

## 13 廃棄上の注意

### 廃棄物処理方法

#### 製品廃棄物の処分

化学残留物や残った化学薬品は、常に特別廃棄物として処理してください。必ず、現地の公害防止法および該当する法令に従って処分してください。現地の該当局、または認可を得た廃棄物処理会社に問い合わせ、確実に法令を順守してください。

アジ化ナトリウムは保存剤として用いられますが、金属製排水管内で爆発性化合物を生成することがあります。(NIOSH Bulletin: Explosive Azide Hazard (1976/8/16))

アジ化物が蓄積する可能性を回避するため、未希釈の試薬を廃棄した後は排水管を水で洗い流します。アジ化ナトリウムは地方自治体の規定に従い適切に廃棄してください。

#### その他の情報

欧州廃棄物カタログ 18 01 07 : 18 01 06に記載されている化学品以外の化学品。国、州および地方の関係法規に従って廃棄する。

## 14 輸送上の注意

本品はICAO、IATA DGR、IMDG、US DOT、欧州ADRおよびRID、またはカナダTDGでの輸送上の規制はありません。

- 14.1 UN/ID番号：輸送上の規制はありません
- 14.2 UN 正式品名：輸送上の規制はありません
- 14.3 輸送時の危険性クラス：輸送上の規制はありません
- 14.4 包装グループ：輸送上の規制はありません
- 14.5 環境有害物質：輸送上の規制はありません
- 14.6 ユーザー向けの特別な予防措置：なし
- 14.7 IMO規則に則ったばらでの海上輸送：適用外

## 15 適用法令

**当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則 / 法規  
米国連邦および州の規則**

**SARA 313 ( セクション313、タイトルIII 報告要件 )**

CAS番号 26628-22-8 アジ化ナトリウム 1.0% 僅少濃度

**CERCLA - The Comprehensive Environmental Response, Compensation, and Liability Act(CERCLA -  
包括的環境対策・補償・責任法)40 CFR 302.4**

CAS番号 26628-22-8 アジ化ナトリウム

**California Proposition 65**

**がんを引き起こすことがカリフォルニア州で知られている化学物質**

成分の記載はありません。

**発生毒性を引き起こすことがカリフォルニア州で知られている化学物質**

成分の記載はありません。

**男性に対する生殖毒性を引き起こすことがカリフォルニア州で知られている化学物質**

成分の記載はありません。

**女性に対する生殖毒性を引き起こすことがカリフォルニア州で知られている化学物質**

成分の記載はありません。

**マサチューセッツ州有害物質「Right To Know」( RTK ) リスト**

CAS番号 26628-22-8 アジ化ナトリウム

**ニュージャージー州保健局有害物質「Right To Know」( RTK ) リスト**

CAS番号 26628-22-8 アジ化ナトリウム



## 15 適用法令 (続き)

### ペンシルバニア州有害物質「Right To Know」(RTK) リスト

CAS番号 26628-22-8 アジ化ナトリウム

#### EU 規則

このSDSは、EC規則 1907/2006(REACH)及び改正に準拠します。

#### 水質有害性等級 (ドイツ)

WGK 1、水質に対してわずかに有害

#### 爆発性前駆体の販売および使用に関する規則 (EU) 2019/1148 – 疑わしい取引の報告対照物質

成分の記載はありません。

#### 爆発性前駆体の販売および使用に関する規則 (EU) 2019/1148 - 制限対象の爆発性前駆体

成分の記載はありません。

#### REACH 1907/2006 EC - 高懸念物質 (SVHC) の候補リスト

成分の記載はありません。

#### REACH 1907/2006 EC - 附属書XVII - 特定の危険物質に対する制限事項

成分の記載はありません。

#### REACH 1907/2006 EC - 附属書XIV - 認可対象物質リスト

成分の記載はありません。

セクション3を参照

#### UK 規則

#### UK REACH規則 (改正版に従う) - 認可対象物質リスト

セクション3を参照

#### カナダ

本品は危険物としてのWHMISの基準に該当しません。

#### 中国

#### 有害化学物質のカタログ - 有害化学物質

CAS番号 26628-22-8 アジ化ナトリウム

#### インベントリー – 中国 - 既存商業化学物質インベントリー (IECSC)

すべての成分がリストに記載されている、あるいは免除されています。

#### トルコ

#### トルコ-REACH - KKDIK 規則 – 附属書 17 – 制限事項

成分の記載はありません。

#### 国際的

#### UN/FAO/ロッテルダム条約 - 事前通報・同意手続 (PIC) の対象となる化学物質

## 15 適用法令 (続き)

成分の記載はありません。

### 化学物質安全性評価

化学物質安全性評価が行われませんでした。

セクション15に記載の一部の有害成分は、セクション3の報告要件にある発癌性物質、突然変異原、生殖毒性物質のカットオフ値が0.1%、他の健康ハザードの値が1%未満です。

## 16 その他の情報

安全率	可燃性: 0 健康: 1 反応性: 0 物理的接触: 1	コード 0=なし 1=軽度 2=中等度 3=重度
-----	---------------------------------------	--------------------------------------

### 改訂版変更

1、2、3、4、8、15セクションを更新しました

### 文書バージョンおよび発行/改訂日

改訂日 (年/月/日) 2023/12/22  
 最終改訂日 (年/月/日) 2023/05/22  
 文書ID: A63880-75  
 バージョン: AH

### 危険有害性分類法

この混合物は、ヒトの健康および環境への有害性に関する計算方法を使用して分類されました。物理的有害性は、仕様に基づいて決定されました。

### セクション3の危険有害性分類と危険有害性情報の記述

Aquatic Acute 1 - 水生環境有害性 (急性)、カテゴリ1  
 Acute Tox. Oral 2 - 急性経口毒性、カテゴリ2  
 長期水生毒性1 - 水生環境有害性 (長期間)、区分1  
 EUH032 - 酸に触れると非常に有毒なガスを発生。  
 H300 - 飲み込むと生命に危険。  
 H400 - 水生生物に非常に強い毒性。  
 H410 - 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性。

### 略語及び頭字語

ACGIH—アメリカ産業衛生専門家会議 (ACGIH)  
 ADR/RID—ヨーロッパ道路鉄道危険物運送条約  
 CLP—分類、表示および包装  
 DFGMAK—(独)曝露許容濃度  
 EC50—環境培地中のある物質の濃度が、テスト生物の50%に一定の効果をもたらすと予想される濃度  
 GHS—化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS)  
 HCS—危険有害性周知基準  
 IARC—国際がん研究機関  
 IATA DGR—国際航空運送協会航空危険物規則書  
 ICAO—国際民間航空機関  
 IDLH—生命および健康に対して急性の有害影響を及ぼす  
 IMDG—国際海上危険物規定

## 16 その他の情報 (続き)

IMO—国際海事機関  
IOELVs—欧州連合職業曝露限度指針値  
LC50—水生生物に死亡を引き起こす ( テスト個体数の50% ) 水中の物質濃度  
LD50—致死量50%  
NIOSH—国立労働安全衛生研究所  
NTP—米国国家毒性プログラム  
OSHA—労働安全衛生局  
PBT—生物蓄積性及び有毒性物質  
PEL—許容曝露限度  
SARA—スーパーファンド法修正・再授權法  
STEL—短期的曝露限度  
STLV—短期的限度値  
STV—短期値  
TDG—カナダ危険物輸送規則  
TLV—閾値  
TWA—時間荷重平均濃度  
UN GHS—国連世界調和システム  
US DOT—米国運輸省  
US OSHA—米国労働安全衛生局  
vPvB—残留性および蓄積性が極めて高い物質  
WHMIS—作業場危険有害性物質情報システム

ここに記載されているBeckman Coulter、ロゴマーク、ならびにベックマン・コールターの商品およびサービスマークは、ベックマン・コールターの米国およびその他の国における商標と登録商標です。

詳細はお近くの Beckman Coulter, Inc. 代理店までお問い合わせください。

は BECKMAN COULTER, INC. はここに記載した内容は有効かつ正確であると考えていますが、BECKMAN COULTER, INC. 有効性、正確性、あるいは通用性を保証もしくは明言するものではありません。BECKMAN COULTER, INC. 当社はこの内容または製品の使用に関し、法的責任もしくは他のいかなる責任も負うものではありません。危険有害物質の廃棄は地域ごとの法律、規則により規制されることがあります。